

支援部だより



# そよかぜ



第4号 令和3年 8月25日

宮城県立迫支援学校 支援部

文責：高橋祐美子

例年に比べ涼しい日が多く、過ごしやすかった夏休みも終わりましたが、まだ暑さは残るようです。また、コロナウイルス感染拡大も心配されます。うがい・手洗い・マスク、水分補給や着るものの調節など、体調管理に気を付けながら、夏休み明けも元気に学校生活を送ってもらえればと思っています。

## 専門性向上研修会について

昨年度はコロナウイルス感染拡大により中止となりましたが、今年度は7月29日(木)に規模を縮小し、会場を2つに分けて研修会を実施いたしました。

研修会テーマ：「自閉症児の理解と支援 ～具体的な対応を中心に～」

講師：社会福祉法人 みずきの郷 理事長 米倉 尚美 氏

今回の研修会では、自閉症スペクトラムの特性や、行動障害が起こる背景やそれに至るプロセスなど、自閉症児を理解する上でのポイントについてお話いただきました。その後、具体的な対応について、写真や事例をもとにお話しいただき、目指す支援の在り方や改善へのプロセスについて学ぶことができました。



保護者の皆様や学校関係者、地域の方々にも御案内をし、実施したいところではありましたが、コロナウイルス感染予防のため、このような形での実施となりました。なお、研修で配付された資料については、お渡しができますので、希望される場合は支援部高橋まで御連絡をいただければと思います。

## 6・7月の相談件数について

■電話相談 55件

■訪問相談9件

■学校見学 18件

そよかぜ相談では、発達や就学に関する相談を受け付けております。お電話にてお申し込みください。